

# 青少年交換プログラム (YEP)

## アジェンダ :

1. RI第2780地区青少年交換プログラム
2. 青少年交換委員会の役割
3. ROTEXの役割
4. 各グループ及びホストクラブの役割
5. 交換学生に関するルール
6. 費用負担について
7. 主な年間行事予定
8. 今後の委員会運営

# 1. RI第2780地区青少年交換プログラム

国際ロータリー青少年交換プログラム(YEP)は、1972年の国際ロータリー理事会に於いて世界的な平和と理解を推進する価値ある国際的活動として正式に推奨され、**RI**本部に常設委員会を持つ重要なプログラムとして、世界中に広まり今日に至っています。

**YEPは、地区独自の事業ではなく、国際ロータリーの継続事業。**

**この青少年交換プログラムは、世界中のロータリアンが青少年に今までに体験したことのないような体験をさせてあげたとの思いを形にした事業です。**

# 1. RI第2780地区青少年交換プログラム

## 目的と使命

このプログラムは、語学研修だけでなく派遣先の文化や習慣・伝統・歴史に触れると同時に日本の文化や習慣を広め相互理解を図り、世界平和への貢献を目的としています。

派遣生に課せられた使命は、青少年親善大使として日本と派遣国との間に「友情の架け橋」を築き、外国を知るだけでなく、日本の文化や習慣を紹介して理解を得ることです。

## 第2780地区青少年交換

当地区の青少年交換事業は、第259地区時代の1983年より青少年交換事業を盛んに行い、そして1989年の第278地区創立時にはアメリカ・カナダ・オーストラリア等の英語圏と6人の青少年交換が始まりました。のちにブラジルが加わり、そしてヨーロッパ諸国や台湾とも交換を行うようになり前年度からはハンガリー次年度からデンマークと今日に至っています。

# 1. RI第2780地区青少年交換プログラム

青少年交換プログラム(YEP)には毎年、世界の150カ国約8000人の青少年が参加し、今年度日本から25カ国180人の交換学生が派遣され、同時に海外から180人の学生が来日しています。

## 交換国

派遣国は、アメリカ/カナダ、メキシコ、ブラジル、イタリア、フランス、ドイツ、ハンガリー、台湾、デンマークの9か国へ9名を派遣し、同じく9名を迎え入れ、各グループに1名の来日学生のお世話をお願いしています。

但し、派遣年度により派遣先が変更になる場合もあります。

この様な多様性のある学生交換は、当地区の特色であり、国内他の地区では行なわれていないことです。

## 2. 青少年交換委員会の役割

**このYEPが安全にかつ円滑に進行するよう様々な活動を行なっています。**

- 交換相手地区(国)の選定。 政治不安や治安を考慮した上での決定と正式契約の締結。
- 派遣学生の相手地区・国への申請書(Application Form)の作成指導、確認と提出。
- 派遣学生に対し、研修を通して青少年親善大使としての心得や気構えの教育と精神的サポート。
- 来日学生・派遣学生に対する毎月のオリエンテーション、研修旅行等
- 留学期間中の来日・派遣学生の危機管理への対応、健康管理、サポート。
- ホストクラブ・スポンサークラブへのサポート、各グループから出向の委員が担当。
- 国際ロータリーから発信される新たなルールの伝達と広報。



## 3. ROTEXの役割

**ROTEXは、当地区から派遣された青少年交換学生のOB/OGからなる組織です。**

ROTEXの精力的な協力があるおかげでYEPが成り立っていると言っても過言ではありません。

主な活動は、毎月のオリエンテーション前の懇談会を通して来日・派遣学生への語学指導や生活や学業に対するアドバイスやROTEX主催の小田原散策やスポーツ大会などです。

### 2019京都研修旅行



## 4. 各グループ及びホストクラブの役割

**ホストクラブ**：各グループに1名の来日学生の受入れをお願いしています。ホストクラブの決定は、一部のグループを除いて大半のグループが輪番制になっています。

- ① ホストクラブ・カウンセラーの選任。(1人)
- ② ホストファミリーの複数確保。(3か月毎のホストチェンジが望ましい)
- ③ 来日学生受入れ高校の確保とカリキュラムの確認。
- ④ 地区からの助成金とグループ単位で徴収する人頭支援金の管理と運営。
- ⑤ 委員会主催のオリエンテーションへの参加、来日学生は出席が義務。
- ⑥ 次年度ホストクラブへの連絡(引き継ぎ)や準備作業の支援。

## 5. 交換学生に関するルール

- ① 留学期間(11か月以上・一年未満)高校生として相手地区の高校に通学すること。
- ② 派遣元(地区)の学力試験・面接に合格し、地区ガバナー・委員会が認めた学生であること。
- ③ 保護者共、青少年交換プログラムやロータリーについて理解をしていること。
- ④ 4Dルール (**No Driving・No Drinking・No Dating・No Drug**) を理解し遵守すること。

※留学途中であっても、**ルールや法律に違反した場合は、強制送還**とします。また病気や怪我を負った場合、相手地区や両親と協議の上、留学を中止する場合があります。  
学生の都合での早期帰国は禁止されています。



## 6. 費用負担について

毎年度、ホストクラブに対し地区より半期ごと45万円X2回・計90万円（9月・2月）助成金を支給します。

助成金は学校への学費、教材費、制服代、ホストファミリーへの食費補助・謝礼金、学生へのお小遣い10,000円/月、通学交通費、携帯電話（3,000円）、オリエンテーション参加のための交通費などに使います。

年間90万円では足りないため、近年ではホストクラブの負担を軽減する目的で各グループが人頭分担支援金を拠出する方法を取っています。

このグループ人頭分担支援金の徴収と管理は、各グループ ガバナー補佐にお願いしています。

一方学生側の負担は、往復の航空運賃、各国指定の留学(旅行)保険（12万程度）、ブレザー購入費、研修旅行費、その他衣料等の物品費となります。

## 7. 主な年間行事予定

青少年交換委員会では学生研修のため、1年を通して様々なプログラムを組んでいます。

- 委員会主催の毎月のオリエンテーション・京都研修旅行・逗子海岸花火大会鑑賞・歌舞伎鑑賞・一泊送別会farewell trip等。
- 他にROTEX主催のボーリング大会・小田原散策・茶道教室・着付け教室などがあります。

## 8. 今後の委員会運営

青少年交換プログラムにおいて学生の身の安全を第一に考え、危機管理への対応策の充実が今後の課題と考えています。

- 今年度より有事の場合の緊急連絡や安否確認を委員会が速やかに出来るようにするため、SNS(messenger)でOBS/IBS の各グループ連絡網を用意しました。
- 今後は特にHC/HFに対して問題解決への敏速な対応と派遣学生選考方法(面接試験)の改善も検討したいと思います。

次年度においても、今年度同様の委員会活動を予定していますが、改善すべき点を改善し、プログラム運営の充実を図りたいと思います。

この青少年交換は、ロータリアンの子弟が挑戦できる唯一のプログラムです。

皆さんのお子さんやお孫さんには是非、挑戦して頂きたいと思います。

皆様のさらなるご理解とご協力をお願い致します。

**先ずは8月に開催予定の合同説明会にお越しく下さい！**

青少年交換委員会